

## 小樽市教育研究所報

## 環 流



## &lt;目 次&gt;

|               |         |
|---------------|---------|
| 生徒の活動：桜町中学校   | .....P1 |
| 巻頭言：山本 俊次校長   | .....P1 |
| 特集「魅力ある学校づくり」 | .....P2 |
| 小樽市教育研究所事業内容  | .....P3 |
| 初任者の紹介 2      | .....P4 |

第198号 令和8年9月25日



## 【芸術鑑賞】

プロの指導を受けて共演し、伝えることの難しさ・楽しさを学びました。



## 【キャリア教育】

講師の考えや体験を聴き、自分の将来を考える機会にできました。



## 【全校協議】

学校課題を解決するためのアイデアを出し合い解決方法を考えました。

## 「安心と活力」

小樽市立桜町中学校 校長 山本 俊次



AIやデジタル技術が急速に進展し、予測困難で多様な価値観が交錯する現代社会。こうした時代だからこそ、私たち教育に携わる者に求められているのは、普遍的な人とのつながりや他者を理解し協働する力を育むことではないでしょうか。

本校では、「安心と活力」を学校づくりの根幹に据えています。「安心」という土台の上に、日々の学びや多様な人との関わりを通して自発的な「活力」が生まれ、それが豊かな成長と将来の自立へと結びつくと考えているからです。

本校の教育目標を実現するため、今年度は「コミュニケーション力の育成」を重点課題に掲げ、①自分の考えを相手にわかりやすく伝える力 ②相手の言葉を正しく聴く力 ③折り合いをつける力 の3つの力の育成を重点目標としています。

これらの力を生徒が安心して伸ばしていくためには、教員の情熱と組織的な姿勢が欠かせません。本校の教職員は、生徒の心に寄り添い、その成長の芽を捉える「発達支持的」な視点を大切にしています。同時に、あたたかさの中にも「良いこととダメなこと」の線を明確にし、メリハリのある組織的な指導を徹底しています。

「どうすべきか、どうしたいか」を自ら考え抜き、一步を踏み出す挑戦を大人がしっかりと支えること。その経験と自信の積み重ねこそが、本校が小中一貫教育の出口として目指す「ひとりだち」へとつながります。

これからも「安心と活力」に満ちた学校づくりに挑み続けてまいります。

# 特集

## 「9年間の学びと地域をつなぐ魅力ある学校づくり」

小樽市教育委員会教育部

魅力ある学校づくり担当主幹 瀧口 博貴

「魅力ある学校」と聞いたとき、私たちはどのような学校を思い浮かべるでしょうか。

学力が高い学校、特色ある教育活動を行う学校、施設設備が充実した学校など、その姿は様々です。しかし、人口減少や少子化が進み、地域社会の在り方そのものが変化する中で、学校の魅力を考えるとき、教育活動だけではなく、学校と地域とのつながりという視点がこれまで以上に重要になっていると感じています。

小樽市教育推進計画では、「主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人づくり」を基本理念に掲げ、「ふるさと教育の充実」や「学校段階間の連携・接続の推進」などを重点的に進めています。

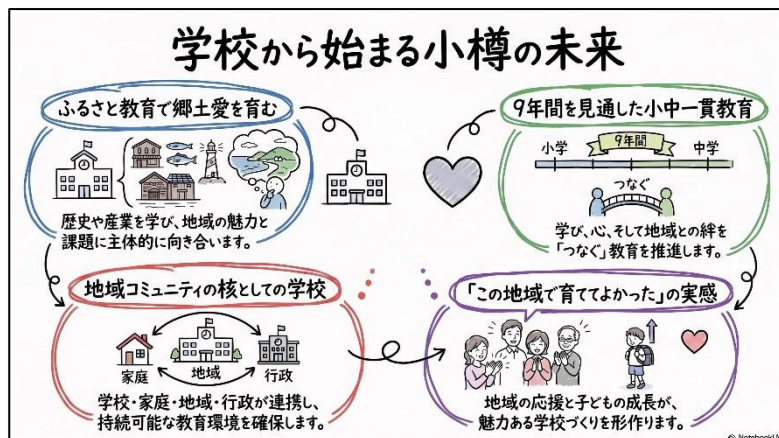
本市のふるさと教育は、小樽の歴史や自然、文化、産業を学ぶだけではありません。社会科副読本「わたしたちの小樽」や教材「小樽の歴史」、総合博物館や地域人材の活用、おたる潮まつりへの参加などを通して、子どもたちが地域の魅力や課題と主体的に向き合い、自分たちのまち、小樽の未来について考える学びでもあります。こうした経験は、郷土への誇りと愛着を育み、将来の地域社会を支える人材の育成につながっています。

また、本市では全ての中学校区において小中一貫教育を推進しています。これまでの取組では、「目標をつなぐ」「子どもの学びをつなぐ」「子どもの心をつなぐ」「教職員の意識をつなぐ」「家庭・地域との絆をつなぐ」という視点を大切にしながら、9年間を見通した教育活動を進めてきました。

現在、教育委員会では小中一貫教育基本方針の改定に向けた検討を進めています。その背景には、児童生徒数の減少や学校規模の小規模化が進む中であっても、質の高い教育環境を持続可能な形で確保したいという思いがあります。これからの学校には、子どもたちの学びを支える場としての役割だけでなく、家庭や地域、行政と連携しながら地域コミュニティの核となることも期待されています。

魅力ある学校づくりに特効薬はありません。しかし、中学校区で子ども像を共有し、9年間の学びと育ちをつなぎ、地域とともに子どもを育てる取組を積み重ねていくことは、確実に学校の魅力を高めていきます。そして、そのことは学校の未来だけではなく、小樽の未来を創ることもつながるはずです。

子どもたちが「この学校で学んでよかった」と思えること。保護者が「この地域で子育てしてよかった」と感じる。地域の方々が「この学校を応援したい」と思えること。その積み重ねこそが、私たちが目指す「魅力ある学校づくり」であると考えています。



# 令和8年度 小樽市教育研究所の事業内容

## 1 教職員研修の充実にかかわる内容

| 事業（予定を含む）                                                                                                 | 内 容                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○教育研究の推進<br>・教育研究所研究員会議の開催（年9回）<br>・研究紀要の発行（3月）<br>・北海道教育研究所連盟との連携                                        | ・教育研究所が掲げる研究主題の実践的な解明を目指します。<br><b>【研究主題】（教育研究所 第14次研究）</b><br><b>未来を生き抜くための思考力と創造性を育む学習指導の在り方</b><br><b>～「子どもを主語」にした授業づくり～</b><br>第2次研究（令和8年度）<br>○研究主題の趣旨の具現化<br>・検証授業による効果的な授業内容の発信<br>第3次研究（令和9年度）<br>○研究実践の深化とまとめ |
| ○調査研究活動事業の推進<br>・研究推進校（11校）・団体（1校）、研究交流校（3校）・団体（5校）の研究の推進<br>・研修発表会の開催（1月）<br>・公開研究授業等の推進<br>・研究集録の発行（3月） | ・各学校及び研究団体の研究推進を奨励し、研究内容の充実を図ります。<br>・教育研究所 第14次研究の主題解明にむけ、研究を進めます。<br>・研究活動の充実を目指して、各研究校・研究団体の研究内容の交流を深める共同研究会（研修発表会）を開催し、活動状況及び研究成果の発表・交流を行います。                                                                      |
| ○研究所主催の研修会の推進<br>・検証授業全市公開の開催（12月）                                                                        | ・教員の資質・指導力の向上を図るため「確かな学力」の育成を目指し、教師力を高める、実践的な研修を推進します。                                                                                                                                                                 |
| ○来所研修指導の推進                                                                                                | ・個人課題及び学校課題等の解明を目指すための支援をします。<br>・基礎的な授業改善への支援をします。                                                                                                                                                                    |
| ○所報「環流」の発行<br>・「環流」年4回の発行（6・9・12・3月）                                                                      | ・今日的な課題等を取り上げ、学校改善及び授業改善への啓発を図ります。                                                                                                                                                                                     |
| ○研究図書・資料の収集、整備及び活用の促進<br>・来所貸出の推進                                                                         | ・教育活動の充実を図るために、教育情報を収集・整理し、その活用の促進を行います。<br>（9月末現在の新規購入図書12冊）                                                                                                                                                          |

## 2 教育活動の充実にかかわる内容

|                                                                                          |                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ○諸検査の推進<br>・標準学力検査の推進<br>・全国学力・学習状況調査報告書の作成                                              | ・諸検査の実施と結果の活用を促します                                                                   |
| ○副読本、教材の編集、発行<br>・「わたしたちの小樽」の発行、活用の促進<br>・新版「おたるの自然」及びデジタル版の活用の促進<br>・教材「小樽の歴史」の発行、活用の促進 | ・地域に根ざした教育指導の充実を目指し、社会科副読本の改訂作業を進めるとともに、理科教材の活用の促進を行います。<br>・「小樽の歴史」の発行と、活用の促進を行います。 |
| ○教育情報の推進<br>・ホームページ及びSNSの運用・活用                                                           | ・研究所のホームページ及びSNSの管理と運用を行い、最新の情報を掲載します。                                               |

## 3 教育相談の充実にかかわる内容

|                                                                           |                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| ○教育相談の実施<br>・電話相談、メール相談、来所相談の実施<br>・スクールソーシャルワーカー（SSW）による関係機関と連携・協力した相談活動 | ・教育支援センターと連携し、いじめ、不登校など学校教育にかかわる相談を受け付け、解決に向けて支援します。 |
|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|

## <令和8度 初任者紹介・その2> 今回は6名紹介します。



小樽市立桜小学校 教諭 宇野 和 博

今年度より新規採用として小樽市立桜小学校に着任いたしました。小学校から高校までを小樽市の学校で育ってきましたが、自身が教師となり小樽の教育に携われることを嬉しく思っています。至らない点も多く、先生方や保護者・地域の方々に支えられてばかりではありますが、子どもたちが健やかに成長できるよう、責任をもって教師として日々邁進してまいります。よろしくお願いします。



小樽市立桜小学校 養護教諭 佐 川 里 美

今年度より小樽市立桜小学校に養護教諭として着任いたしました。前職の英語教諭の経験も活かし、国際化が進む中で個と多様性を尊重し、かわいい子どもたちの心身の健康保持に尽力していきたいと思ひます。皆様にこれまで支えていただいたご恩に報いるためにも、先生方が安心して教育活動に専念できるよう「チーム学校」の一員として共に歩んでまいりたいと思ひます。



小樽市立菁園中学校 教諭 二 瓶 孝 太

このたび、新規採用教員として菁園中学校に赴任いたしました。日々、生徒たちと関わる中で、その成長を間近で感じられることに大きな喜びを感じています。まずは授業づくりに力を注ぎ、生徒が自ら考え、課題を発見し、学ぶ楽しさを実感できる授業を目指していきたいと考えています。初心を忘れず、先輩方から学び続けながら、生徒一人一人に寄り添える教員となれるよう努力してまいります。



小樽市立朝里小学校 教諭 木 村 天 晴

教員として子どもたちと過ごす毎日は、学びと発見の連続です。悩むこともありますが、子どもたちの何気ない言葉や笑顔から私自身が元気をもらうこともあり、子どもたちの成長に立ち会える喜びを感じています。初任者として、周りの先生方から学ぶ姿勢を大切にしながら、一人一人の思いに寄り添い、「この先生に出会えてよかった」と思ってもらえるような教師を目指して、日々努力していきます。



小樽市立松ヶ枝中学校 教諭 飯 田 瑛 翔

小学生の頃から教員を目指してきた私にとって、気がつけば実際に教壇に立ち、子どもたちと日々を過ごしていることに、不思議な感覚と大きな喜びを感じています。まだ分からないことや学ぶべきことが多くありますが、子どもたちとの関わりを大切にしながら、日々支えてくださる先生方への感謝を忘れず、一つひとつの経験を自分自身の成長につなげ、教員として成長していけるよう何事にも全力で取り組んでいきたいと思ひます。



小樽市立朝里中学校 教諭 秋田谷 貫 汰

はじめまして。この度、小樽市立朝里中学校に着任いたしました秋田谷貫汰です。まだ教員としては不慣れな部分もありますが、生徒一人ひとりと誠実に向き合い、一日も早く一人前の教員となれるよう精進して参ります。

技術・家庭科の授業を通じて生徒たちの好奇心を存分に引き出せるよう、私自身も日々学びを深め、魅力ある授業づくりに努めていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。